2022年度 入学生用　芸術学部 演劇・舞踊学科　カリキュラム・ツリー

：必修科目　：必修選択科目　：選択科目

学修目標

上演芸術を理論的・実践的に学び、基礎知識、歴史的意義に触れた上で、自由な創造の原動力となる専門的な素養を身につける。
自らの探究心を磨き、専門性を見極めた上で、幅広い知識と多様な可能性を含んだ応用力を身につける。社会における自らの役割を理解し、責任感と使命感を持って行動できるようにする。

上演芸術を通して社会に貢献するための見識を、実践的な舞台創造を通して身につける。

幅広い知見に触れ、自らの専門領域を深めるための生涯学習力を身につける。

一人の自立した人間として存在するために、読む・書く・話すを基本とした言語能力と、外国語を含めた基本的コミュニケーション能力を育み、論理的かつ想像力豊かな創造性を持った思考力を身につける。

国際言語としての英語をツールとして使いこなせるように修得し、リーダーシップを発揮しつつ行動できる。

1年次 / 第1セメスター・第2セメスター

基礎科目
- 演技・舞踊入門 → 演技・舞踊基礎演習
- 世界演劇・舞踊史Ⅰ → 世界演劇・舞踊史Ⅱ
- 芸術概論
- 日本文化芸術論

実習・実践科目
- 舞台技術基礎演習 → 上演基礎実習

US選択科目
- マルチメディア表現
- コミュニケーション論
- 心理学

1年次いずれかのセメスターで履修を推奨

玉川教育・FYE科目
- 一年次セミナー101（US） → 一年次セミナー102（US）
- 健康教育 → 玉川の教育
- 音楽Ⅰ → 音楽Ⅱ

言語科目
- ELF101
- ELF102
- ELF201
- ELF301
- Performing in English
- → ELF202
- → ELF302

2年次 / 第3セメスター・第4セメスター

コース別専門科目
- 身体表現コース：演技・舞踊演習Ⅰ／所作・擬闘／メイクアップ → 演技・舞踊演習Ⅱ
- 舞台創造コース：舞台創造演習Ⅰ → 舞台創造演習Ⅱ／シアターデザイン基礎演習Ⅰ → シアターデザイン基礎演習Ⅱ
- 芸術応用コース：芸術創造演習Ⅰ → 芸術創造演習Ⅱ／応用演劇演習Ⅰ → 応用演劇演習Ⅱ

基礎科目
- 日本演劇・舞踊史Ⅰ → 日本演劇・舞踊史Ⅱ
- 演劇理論
- 芸術と社会

実習・実践科目
- 上演実習A → 上演実習B
- 芸術プロジェクトA → 芸術プロジェクトB

US選択科目
- 美術史
- 現代文化論
- ことばと文化
- 人工知能と社会

2年次いずれかのセメスターで履修を推奨

- フィールドワークA → 地域創生プロジェクトA
- フィールドワークB → 地域創生プロジェクトB
- フィールドワークC → 地域創生プロジェクトC
- 地域創生プロジェクトD
- 地域創生プロジェクトE
- 地域創生プロジェクトF

言語科目
- ELF401 → ELF402

3年次 / 第5セメスター・第6セメスター

コース別専門科目
- 身体表現コース：演技・舞踊演習Ⅲ／オーディション演習／アナウンス・ナレーション研究
- 舞台創造コース：舞台創造演習Ⅲ／劇空間デザイン研究
- 芸術応用コース：芸術創造演習Ⅲ → 芸術創造演習Ⅳ／応用演劇演習Ⅲ → 応用演劇演習Ⅳ

＋ 舞台芸術研究Ⅰ ＋ 演技・舞踊演習Ⅵ ＋ 舞台創造演習Ⅳ ＋ 芸術創造演習Ⅳ ＋ 応用演劇演習Ⅳ ＋ 舞台芸術研究Ⅱ

基礎科目
- 劇場接遇演習（ゲストリレーション）

実習・実践科目
- 上演実習C → 上演実習D
- 芸術プロジェクトC → 芸術プロジェクトD

US選択科目
- マーケティング
- プレゼンテーションスキル

3年次いずれかのセメスターで履修を推奨

- 複合領域研究201
- 複合領域研究202
- 複合領域研究203
- 複合領域研究204
- 複合領域研究205
- 複合領域研究206
- 複合領域研究207
- 複合領域研究208
- 複合領域研究209
- 国際研究A
- 国際研究B
- 国際研究C
- 国際研究D
- 国際研究E
- 国際研究F

4年次 / 第7セメスター・第8セメスター

- 舞台芸術研究Ⅲ
- 舞台芸術研究Ⅵ
- 卒業創作・研究A
- 卒業創作・研究B
- 芸術プロジェクトE
- 芸術プロジェクトF

ディプロマポリシー（DP）

【DP1】
上演芸術に関する専門的な知識・技能を身に付けることで、上演芸術を自然や社会と、さらには異文化・異分野などの多様な価値観と関連させながら理解することができる。

【DP2】
上演芸術の専門的な知識・技能をもとに、多様化する社会の諸問題を認識、分析、解決するための意志を持ち、またそのための言語力・論理的思考力・マネジメント力・コミュニケーション力・表現力を身に付けている。

【DP3】
上演芸術を理解し、創作を通じて他者と協働することで、相互の立場や特性を尊重しながら集団における統率力や責任感や倫理観を身に付けている。また、社会に貢献する意識を持つことができる。

【DP4】
上演芸術の専門的な知識・技能を生かし、生涯にわたり積極的に学び続ける生涯学習力を身に付けている。